

里親協力金は、昨年里親さんになって下さった方から頂いた保護協力金、実費ワクチン代、フィラリア検査代、避妊・去勢の一部料金負担の、合計額です。

寄付金は、会に賛同して協力して下さった方たち、のべ回数255件のご寄付の合計の金額です。

足長基金は、顔の見える支援方法でスタートしたばかりです。まだ、1匹だけですが里親が決まらなく長期間を会度過す子のために、昨年末、3,000円/月(3万円/年)の[足長基金制度]を設けました。これから、HPなどでご紹介させていただきます。

からの収入の合計です。

収入		
里親協力金	1,189,015	
寄付金	1,771,785	
足長基金	53,300	
合計	3,014,100	

支出		
フード おやつ代	434,173	
医療費	1,939,185	
環境整備費	2,309,544	
福利厚生費	34,603	
広告宣伝費	111,805	
通信費	92,262	
水道光熱費	419,261	
雑費	332,998	
交際費	18,651	
動物火葬代	34,000	
人件費	208,600	
運搬費	105,000	
研修費	27,400	
合計	6,067,482	
- =	3,053,382	
赤字補填 /スタッフ資金	3,053,382	

ご寄付頂いたフードの他、賞味期限の近いものや包装が破損し商品にならないものを、あるお店のご好意で格安で分けて頂いています。常に、平均40匹前後はいる犬猫が年間食べるフード代は、通常なら年間およそ2,900,000円程かかりますから、約1/6~1/7の金額で済んでいます。(フードはヒルズ・サイエンス・ユカヌバ・アイムスなどのドライと缶詰で、おやつも、より自然に近い添加物を抑えたものを分けて頂いています)

ワクチンなど病気の予防代、検査代、外科手術や薬代などの合計です。会から比較的近くにあり、低料金でみて下さる病院なので、この金額で収まりました。勿論、信頼できる病院であることは言うまでもありません。

運動場・プレハブ小屋・小型犬/老犬ハウス・簡易トイレ・ストーブ3台、それに伴う電気工事代などです。中古のものを捜したり、廃材を利用したり、なるべくお金をかけないように工夫しました。

毎週お手伝いに来て下さるボランティアの方たちの、お茶代などです。

会報2回分の印刷代、動物愛護ポスター印刷代、短時間専従者雇い入れ募集広告代、封筒・ラベルシート代などです。会報でもご説明させて頂いていますが、様々な工夫のもとここまで抑えることが実現しました。

主に切手代、ハガキ代です。電話代などはスタッフの自己負担です。

水は地下水なので無料です。また、電気代は年間約60,000円なので光熱費の殆どは灯油代です。一場所に一台、合計3台のストーブを使用していますが、大型犬舎の設定温度は5度にもかかわらず、原油高が続き厳しい状況です。

掃除用品、トイレシートなどの衛生用品、事務用品や備品類、環境整備のための消耗品、振込手数料などです。

会に協力して下さったお店や会社などに、心ばかりのお茶菓子などのお礼をさせて頂きました。

会の動物が死亡した時に、火葬をした料金です。

昨年末から雇用しています短時間専従者の賃金と、小型犬/老犬ハウス一棟を建てた時に発生した大工さんに支払った人件費です。

安価な中古のプレハブがあったのは遠方だった為に、かかった費用です。尚、保健所などから動物を引取ったり、病院に走ったり、車のない里親さんに動物を運ぶ時にかかったガソリン代は、スタッフが自己負担しています。

動物愛護のビデオなどを購入しました。これは患庭で行われた愛護のイベントで上映したり、希望される方にご覧頂いています。

からのまでの合計です。

の総収入からの総支出を引いた金額です。

差し引きマイナス分は、都度、スタッフ自己資金からの補填をしました。

里親の皆さま・ご支援下さった皆さま、有難うございました！！

2007年度の収支決算をご報告させていただきます。

多くの里親の方々、ご寄付をして下さった方々、協力して下さった方々に心よりお礼申し上げます。お陰さまで、昨年多くの犬・猫に里親さんとの素晴らしい出会いがありました。しかし一方では、放棄される犬・猫は後を絶たず、資金的にも大変厳しい状況です。私たちは、寄付金を募って里親探しをしないと、いわゆるアニマルホーダー(過剰多頭飼育者)的な保護施設に陥ることを一番恐れています。一匹でも多くの動物が里親さんとの出会いを得て、家庭で暮らせるようになることを、活動の最大目標にしています。ただ、運営上からいうと、多く救うことで、更に経費がかかるといったジレンマがあります。資金不足を補うために、スタッフが生活費の一部や、将来の蓄えの中から経費にあてたり、本来は代表の事業である、有償の「しっぽハウス」の収入も投入しています。この先長く保護活動を続けていくためには、個人の資金投入は出来る限り避けるべきと、資金計画については再考の必要があると考えます。

以上を踏まえた2008年度予算計画をご報告させていただきます。

具体的予算案として、まず環境整備ですが、これは最低限の応急的なことは実現したので、今年は補修費用約500,000円のみ計上しました。

また、分かっているもので、昨年より多くかかりそうなのは医療費と人件費です。医療費については、犬の混合ワクチン接種を、現行の二種から最も一般的な五種へ変更することに伴う約500,000円の増加で、今年は約2,500,000円の予算を計上しました。また人件費については、昨年末から短時間専従者の雇い入れを行っているため、約700,000円計上しました。多くの命を救うためにも保護動物の福祉の観点からも、頭数に見合った人手が必要な為です。週末は作業ボランティアさんに来て頂いていますが、保護頭数が増えて作業量が増えているにもかかわらず、平日はスタッフも勤めの為に作業ができず、その作業を代表一人でごなすのは困難です。

個人の資金を投入せずに、会として自立していくためには、まだまだ資金不足の状態です。公的な資金の援助や、法人のスポンサーなどがないと、この先大変厳しい状況です。今まで以上に、イベントや広報活動などで、多くの方に「しっぽの会」の活動を知って頂く必要を痛切に感じています。どうか、皆様方も手から手へ、口から口へと情報の支援の輪を広げて下さいませようお願い申し上げます。